

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第17期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社カカコム
【英訳名】	Kakaku.com, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 実
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号
【電話番号】	(03)5725-4554(代表)
【事務連絡者氏名】	専務執行役員管理本部長 平井 裕文
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号
【電話番号】	(03)5725-4554(代表)
【事務連絡者氏名】	専務執行役員管理本部長 平井 裕文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第2四半期 連結累計期間	第17期 第2四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (第2四半期連結会計期間) (千円)	10,336,849 (5,245,424)	13,375,968 (6,790,066)	23,276,846
経常利益 (千円)	4,946,364	6,559,327	11,611,977
四半期(当期)純利益 (第2四半期連結会計期間) (千円)	2,998,643 (1,549,343)	4,027,823 (1,961,724)	7,090,322
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,003,003	4,023,715	7,099,017
純資産額 (千円)	17,775,986	21,222,882	19,078,672
総資産額 (千円)	28,892,290	26,219,936	25,064,306
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (第2四半期連結会計期間) (円)	13.01 (6.78)	17.97 (8.75)	31.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	13.00	17.91	31.13
自己資本比率 (%)	61.0	79.8	75.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,461,901	3,836,265	7,943,015
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,327,231	684,213	4,043,567
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,980,635	1,962,287	6,871,671
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	14,541,309	16,604,600	15,414,835

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の重要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、また平成25年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

平成25年6月末時点のわが国の固定系ブロードバンドサービスの契約数は3,550.3万契約となり、家庭でのインターネット利用は広く普及をしております。さらに、移動系超高速ブロードバンドサービスの契約数は、スマートフォン及びタブレットの利用者の増加により、3,204.3万契約と前年同月比で約4.8倍となりました（1総務省調べ）。このように、我が国では快適なインターネット利用環境の普及が進んでおり、生活者の利用シーンが拡大しております。このような環境下、当社グループは、購買支援サイト『価格.com』、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』など、複数のグループサイトの月間利用者数及びページビュー数を伸ばす結果となりました。各サイトがそれぞれグループ全体の業績を牽引することで、日本を代表するインターネット・メディア・カンパニーとしての地位を確立しつつあります。

当社主要サイト利用状況

サイト名		平成24年9月度	平成25年9月度
購買支援サイト 『価格.com』	利用者数	3,529万人	4,431万人
	PC	2,701万人	3,026万人
	スマートフォン	679万人	1,328万人
	フィーチャーフォン	149万人	77万人
	ページビュー数	8億8,328万PV	9億1,128万PV
ランキングとクチコミの グルメサイト 『食べログ』	利用者数	3,928万人	4,889万人
	PC	2,288万人	2,497万人
	スマートフォン	1,288万人	2,214万人
	フィーチャーフォン	352万人	178万人
	ページビュー数	8億6,029万PV	11億3,008万PV
旅行のクチコミサイト 『フォートラベル』	利用者数	652万人	597万人
	PC	604万人	414万人
	スマートフォン	24万人	171万人
	フィーチャーフォン	24万人	12万人
	ページビュー数	4,868万PV	4,163万PV
総合映画情報サイト 『映画.com』	利用者数	462万人	691万人
	PC	389万人	501万人
	スマートフォン	11万人	156万人
	フィーチャーフォン	62万人	34万人
	ページビュー数	2,715万PV	4,088万PV
不動産住宅情報サイト 『スマイティ』	利用者数	80万人	111万人
	PC	69万人	83万人
	スマートフォン	9万人	27万人
	フィーチャーフォン	3万人	2万人
	ページビュー数	863万PV	994万PV

なお、業務の拡大や人員の増加に対応するため、当第2四半期連結累計期間中に事業所の移転を行ったことから、早期償却及び原状回復工事等の引越し関連費用が約100百万円計上されております。この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は13,375百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益6,500百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益6,559百万円（前年同期比32.6%増）、四半期純利益は4,027百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

- 1 出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成25年度第1四半期（6月末）」（平成25年9月30日発表）

インターネット・メディア事業

当第2四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業は、すべての業務において売上高が堅調に増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,026百万円（前年同期比29.7%増）、営業利益は6,435百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

[ショッピング業務]

当社運営サイト『価格.com』におけるショッピング業務におきましては、ファッションや日用品等の消費財カテゴリの利用者数が順調に増加したことが牽引し、参加ショップからの手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,987百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

[サービス業務]

当社運営サイト『価格.com』におけるサービス業務におきましては、自動車保険カテゴリ及びクレジットカード比較やカードローン比較を中心としたマネーカテゴリの利用者数増加に加え、申込み数や問い合わせ数が堅調に推移したことにより、売上高が堅調に増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,425百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

[広告業務]

当社運営サイト『価格.com』における広告業務におきましては、バナー広告及びテキスト広告中心に広告収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,554百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

[食ベログ業務]

食ベログ業務におきましては、当社運営サイト『食ベログ』が提供する有料サービスを利用するレストランが順調に増加したことで、レストランからの収入が増加いたしました。また、外出先で『食ベログ』を使う利用者が増えたことで、個人会員向け有料サービスである食ベログプレミアムサービスの会員手数料収入も増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,197百万円（前年同期比84.9%増）となりました。

[旅行・不動産等業務]

旅行・不動産等業務におきましては、連結子会社フォートラベル(株)運営サイト『フォートラベル』の今後の収益拡大を図るためのサイト改修を続けているため、旅行商品取次による手数料収入は減少したものの、当社運営サイト『スマイティ』の賃貸物件問い合わせ件数が伸びたことに伴い、手数料収入が増加したことから、売上高は増加いたしました。なお、『スマイティ』の不動産総合ポータルサイト化を進めるため、平成25年4月1日をもちまして、当社運営サイト『マンションDB』のサービスを終了し、『マンションDB』の新築マンション情報を『スマイティ』に統合いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は861百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

ファイナンス事業

当第2四半期連結累計期間のファイナンス事業は、連結子会社(株)カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、生命保険及び損害保険の契約件数が堅調に増加したことにより、保険代理店手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は349百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は65百万円（前年同期比157.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は26,219百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,155百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,189百万円増加したこと、有形固定資産及び無形固定資産が475百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が518百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は4,997百万円となり、前連結会計年度末と比較し988百万円減少いたしました。これは主に買掛金と未払金の仕入債務が452百万円減少したこと、未払法人税等が267百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は21,222百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,144百万円増加いたしました。これは主に純利益4,027百万円を計上した一方で、剰余金の配当1,960百万円を実施したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ1,189百万円増加し、16,604百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,836百万円(前年同期は3,461百万円の収入)となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益を6,559百万円計上した一方で、法人税等の支払が2,754百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は684百万円(前年同期は3,327百万円の支出)となりました。

これは、主として敷金保証金の差入による支出が150百万円、事業拡大に伴うサーバー等の有形固定資産の取得による支出が351百万円、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形固定資産の取得による支出が261百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は1,962百万円(前年同期は3,980百万円の支出)となりました。

これは、主として配当金の支払が1,958百万円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた事項はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	768,000,000
計	768,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	226,761,600	226,761,600	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	226,761,600	226,761,600		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日(注)	113,380,800	226,761,600		915,984		1,087,703

(注) 株式分割(1:2)によるものであります。

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社デジタルガレージ	東京都渋谷区恵比寿南3-5-7	46,688	20.58
株式会社電通	東京都港区東新橋1-8-1	35,016	15.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	11,523	5.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	7,968	3.51
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券 株式会社)	1585 BROADWAY NEW YORK, NEW YORK 10036, U.S.A (東京都渋谷区恵比寿4-20-3)	5,540	2.44
サジャツブ (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	P.O.BOX 2992 RIYADH 11169 KINGDOM OF SAUDI ARABIA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	5,061	2.23
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券 株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6-10-1)	4,929	2.17
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4-16-13)	4,710	2.07
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ 業務部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都中央区日本橋3-11-1)	4,103	1.80
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィデリティ ファンズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ 業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3-11-1)	3,820	1.68
計		129,361	57.04

(注) 1. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 6,749千株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 3,944千株

2. ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピーから、平成25年4月18日付で大量保有報告書の写しの送付があり、平成25年4月15日現在で次のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等 保有割合 (%)
ウェリントン・マネジメント・カンパニー・ エルエルピー	280 Congress Street, Boston MA 02210, USA	3,050	2.67

3. キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー及びその共同保有者であるキャピタル・インターナショナル・リミテッド、キャピタル・インターナショナル・インク、キャピタル・インターナショナル・エス・エイ・アール・エル、キャピタル・インターナショナル株式会社から、平成25年7月5日付で大量保有報告書の写しの送付があり、平成25年6月28日現在でそれぞれ次のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニーにつきましては当社として当第2四半期会計期間末日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等 保有割合 (%)
キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー	333 South Hope Street , Los Angeles , California , U.S.A.	3,195	2.82
キャピタル・インターナショナル・リミテッド	40 Grosvenor Place , London SW1X 7GG , England	541	0.48
キャピタル・インターナショナル・インク	11100 Santa Monica Boulevard , 15th Fl. , Los Angeles , CA 90025 , U.S.A.	189	0.17
キャピタル・インターナショナル・エス・エイ・アール・エル	3 Place des Bergues, 1201 Geneva , Switzerland	239	0.21
キャピタル・インターナショナル株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 明治安田生命ビル14階	431	0.38

4. フィデリティ投信株式会社及びその共同保有者であるエフエムアール エルエルシーから、平成25年10月7日付で大量保有報告書の写しの送付があり、平成25年9月30日現在でそれぞれ次のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等 保有割合 (%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門四丁目3番1号 城山トラストタワー	10,697	4.72
エフエムアール エルエルシー	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	7,863	3.47

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,673,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 224,077,000	2,240,770	
単元未満株式	普通株式 11,100		
発行済株式総数	226,761,600		
総株主の議決権		2,240,770	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社カクコム	東京都渋谷区恵比寿南 三丁目5番7号	2,673,500		2,673,500	1.17
計		2,673,500		2,673,500	1.17

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,914,835	20,104,600
受取手形及び売掛金	3,927,093	3,408,794
繰延税金資産	390,134	342,278
その他	337,944	253,653
貸倒引当金	2,382	2,780
流動資産合計	23,567,626	24,106,546
固定資産		
有形固定資産	493,596	782,574
無形固定資産		
のれん	166,602	121,165
ソフトウェア	380,901	371,463
その他	29,894	271,194
無形固定資産合計	577,397	763,823
投資その他の資産		
繰延税金資産	15	724
その他	429,540	570,230
貸倒引当金	3,870	3,962
投資その他の資産合計	425,684	566,992
固定資産合計	1,496,679	2,113,390
資産合計	25,064,306	26,219,936
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,207,049	777,843
未払法人税等	2,797,943	2,530,812
賞与引当金	354,615	265,972
資産除去債務	-	10,882
その他	1,500,459	1,279,381
流動負債合計	5,860,067	4,864,892
固定負債		
繰延税金負債	53,751	35,132
資産除去債務	64,754	82,768
その他	7,060	14,260
固定負債合計	125,565	132,161
負債合計	5,985,633	4,997,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,984	915,984
資本剰余金	1,365,840	1,365,840
利益剰余金	19,465,543	20,298,574
自己株式	2,880,714	1,650,067
株主資本合計	18,866,654	20,930,332
新株予約権	44,672	129,311
少数株主持分	167,346	163,238
純資産合計	19,078,672	21,222,882
負債純資産合計	25,064,306	26,219,936

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,336,849	13,375,968
売上原価	931,806	1,080,282
売上総利益	9,405,042	12,295,685
販売費及び一般管理費	¹ 4,420,853	¹ 5,794,991
営業利益	4,984,189	6,500,694
営業外収益		
受取利息	6,669	6,297
受取分配金	-	46,919
為替差益	-	300
その他	2,490	5,142
営業外収益合計	9,160	58,660
営業外費用		
支払利息	123	-
株式交付費	872	-
自己株式取得費用	45,289	20
為替差損	677	-
その他	22	7
営業外費用合計	46,984	28
経常利益	4,946,364	6,559,327
税金等調整前四半期純利益	4,946,364	6,559,327
法人税、住民税及び事業税	1,905,551	2,507,083
法人税等調整額	37,810	28,528
法人税等合計	1,943,361	2,535,612
少数株主損益調整前四半期純利益	3,003,003	4,023,715
少数株主利益又は少数株主損失()	4,360	4,107
四半期純利益	2,998,643	4,027,823

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,003,003	4,023,715
四半期包括利益	3,003,003	4,023,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,998,643	4,027,823
少数株主に係る四半期包括利益	4,360	4,107

【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,245,424	6,790,066
売上原価	476,870	559,516
売上総利益	4,768,553	6,230,550
販売費及び一般管理費	2,187,121	3,040,602
営業利益	2,581,432	3,189,947
営業外収益		
受取利息	3,716	3,079
受取分配金	-	13,118
為替差益	-	71
その他	1,533	2,267
営業外収益合計	5,250	18,536
営業外費用		
支払利息	109	-
株式交付費	254	-
自己株式取得費用	33,627	9
為替差損	32	-
その他	4	5
営業外費用合計	34,028	14
経常利益	2,552,654	3,208,469
税金等調整前四半期純利益	2,552,654	3,208,469
法人税、住民税及び事業税	1,118,015	1,421,660
法人税等調整額	118,887	173,067
法人税等合計	999,127	1,248,593
少数株主損益調整前四半期純利益	1,553,527	1,959,875
少数株主利益又は少数株主損失()	4,184	1,848
四半期純利益	1,549,343	1,961,724

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,553,527	1,959,875
四半期包括利益	1,553,527	1,959,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,549,343	1,961,724
少数株主に係る四半期包括利益	4,184	1,848

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,946,364	6,559,327
減価償却費	216,930	244,497
のれん償却額	45,436	45,436
株式報酬費用	-	84,639
賞与引当金の増減額(は減少)	14,627	88,642
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,162	490
受取利息	6,669	6,297
為替差損益(は益)	235	-
支払利息	123	-
株式交付費	872	-
受取分配金	-	46,919
売上債権の増減額(は増加)	542,551	518,298
たな卸資産の増減額(は増加)	288	4,151
仕入債務の増減額(は減少)	145,858	429,206
未払消費税等の増減額(は減少)	46,031	105,819
未払金の増減額(は減少)	39,955	148,217
前受金の増減額(は減少)	923	5,700
その他	361,356	44,438
小計	5,503,693	6,584,697
利息及び配当金の受取額	5,709	6,203
利息の支払額	165	-
法人税等の支払額	2,047,336	2,754,635
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,461,901	3,836,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	146,549	351,911
無形固定資産の取得による支出	125,642	261,210
定期預金の預入による支出	3,000,000	3,500,000
定期預金の払戻による収入	-	3,500,000
敷金及び保証金の差入による支出	49,383	150,150
敷金及び保証金の回収による収入	91,660	26,688
資産除去債務の履行による支出	9,750	-
子会社株式の取得による支出	87,570	-
受取分配金による収入	-	52,370
その他	2	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,327,231	684,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	100,000	-
株式の発行による収入	125,034	-
自己株式の取得による支出	2,555,829	3,373
配当金の支払額	1,449,840	1,958,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,980,635	1,962,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,846,201	1,189,764
現金及び現金同等物の期首残高	18,387,510	15,414,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 14,541,309	¹ 16,604,600

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当社グループは運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
当座貸越極度額の総額	3,400,000千円	3,400,000千円
借入実行残高	千円	千円
差引額	3,400,000千円	3,400,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	886,789千円	1,028,899千円
広告宣伝費	1,257,483千円	1,694,874千円
賞与引当金繰入額	175,920千円	198,914千円
のれん償却額	45,436千円	45,436千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	17,482,328千円	20,104,600千円
顧客分別金信託	4,062,050千円	千円
預り保証金の分別管理を目的とするもの	4,003,069千円	千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,000,000千円	3,500,000千円
現金及び現金同等物	14,541,309千円	16,604,600千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,452,150	25	平成24年3月31日	平成24年6月27日

2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の取得

当社は、平成24年5月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式は2,510,714千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において2,510,714千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,960,791	35	平成25年3月31日	平成25年6月26日

2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の消却

当社は、平成25年5月9日開催の取締役会決議に基づき、平成25年5月31日付で自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,234,000千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が20,298,574千円、自己株式が1,650,067千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	10,041,248	295,601	10,336,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	770		770
計	10,042,018	295,601	10,337,619
セグメント利益	4,959,532	23,457	4,982,989

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,982,989
セグメント間取引消去	1,200
四半期連結損益計算書の営業利益	4,984,189

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	13,026,465	349,503	13,375,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,192		5,192
計	13,031,657	349,503	13,381,160
セグメント利益	6,440,225	62,711	6,502,937

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	6,502,937
セグメント間取引消去	2,243
四半期連結損益計算書の営業利益	6,500,694

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、注記を省略しております。

(有価証券関係)

その他有価証券は、企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	13円01銭	17円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,998,643	4,027,823
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,998,643	4,027,823
普通株式の期中平均株式数(株)	230,553,896	224,088,825
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	13円00銭	17円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	89,600	815,658
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を、平成25年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	6円78銭	8円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,549,343	1,961,724
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,549,343	1,961,724
普通株式の期中平均株式数(株)	228,649,008	224,088,630
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		8円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		975,226
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を、平成25年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

株式会社 カカコム
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北地達明	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	上 田 雅 也	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カカコムの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カカコム及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。